国土交通省東北地方整備局
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記　者　発　表

平成２９年１０月２６日
国土交通省東北地方整備局
福 島 河 川 国 道 事 務 所

台風21号に伴う記録的な豪雨
ホットラインの実施や排水ポンプ車の出動などで被害を軽減!!
～台風21号に伴う降雨による出水速報～

・台風21号に伴う記録的豪雨により、市街地を流れる阿武隈川の水位が大きく上昇しました。
（郡山市の阿久津水位観測所で約7.4メートル、福島市の福島水位観測所で約5メートル上昇）。

・ホットラインの実施、排水ポンプ車（25mプール約4,000杯分を排水）の出動、三春ダムとの連携など、様々な取組により被害の軽減が出来ました。

＜＜発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、郡山市記者クラブ＞＞

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　福島河川国道事務所
福島県福島市黒岩字榎平３６　TEL０２４（５４６）４３３１（代）
副所長（河川）　佐藤（さとう）　勝美（かつみ）　（内線２０４）
調査第一課長　栗原（くりはら）　太郎（たろう）　（内線３５１）

平成２９年１０月２３日
台風２１号に伴う降雨による出水概要

速報

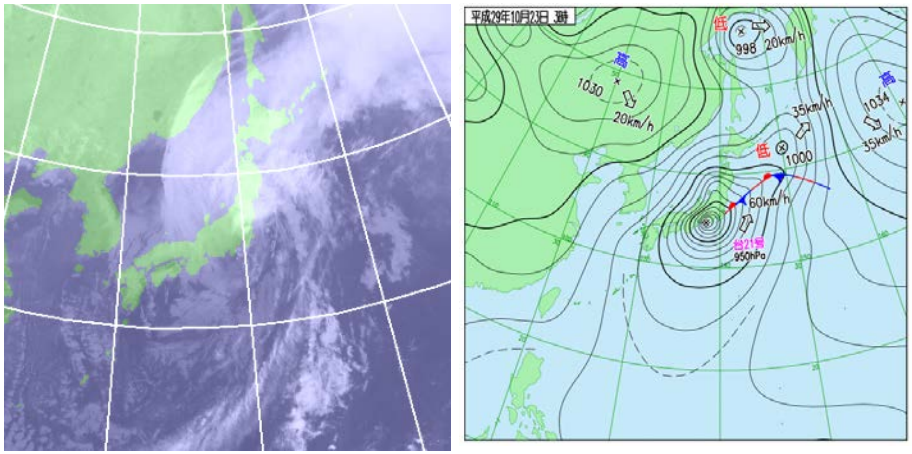
平成29年10月26日
国土交通省　東北地方整備局
福島河川国道事務所

※数値は速報値ですので今後の精査等により変更する場合があります。

平成２９年１０月２３日　台風２１号に伴う出水概要

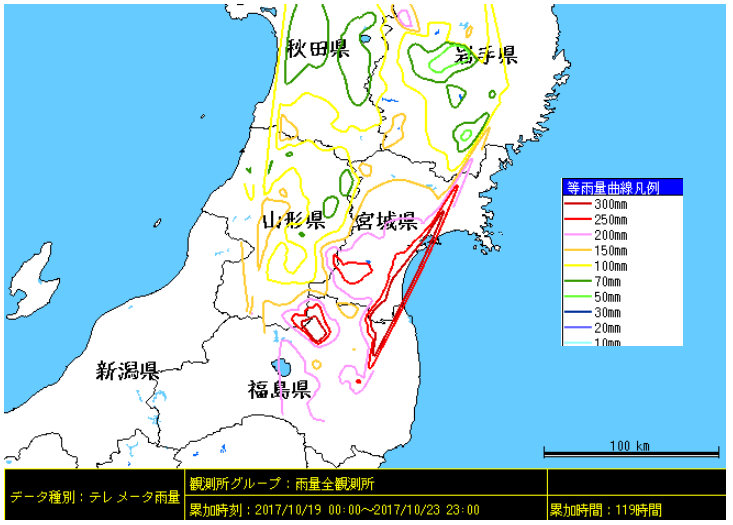
降り始めからの総雨量は、微温湯観測所395ミリ、高湯観測所378ミリ、土湯観測所360ミリ。時間最大雨量は、土湯観測所28ミリ、微温湯と高湯観測所で26ミリに達し、記録的な降雨となった。

天気図と気象衛星画像

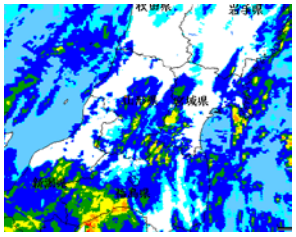


10月23日　3時

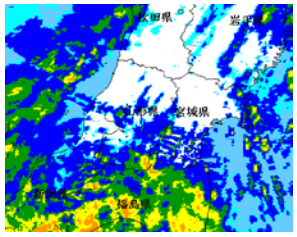
等雨量線図



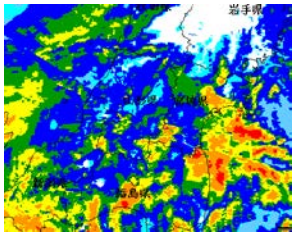
レーダ雨量



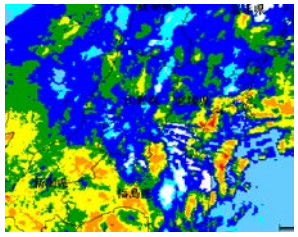
23日　1時



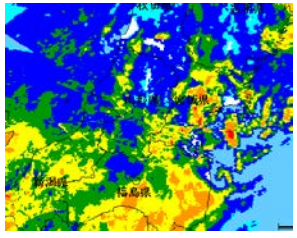
23日　2時



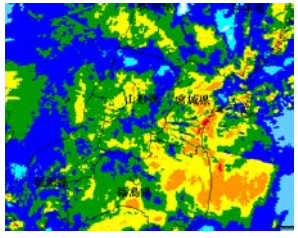
23日　3時



23日　4時



23日　5時



23日　6時

平成２９年１０月２３日　台風２１号に伴う出水概要

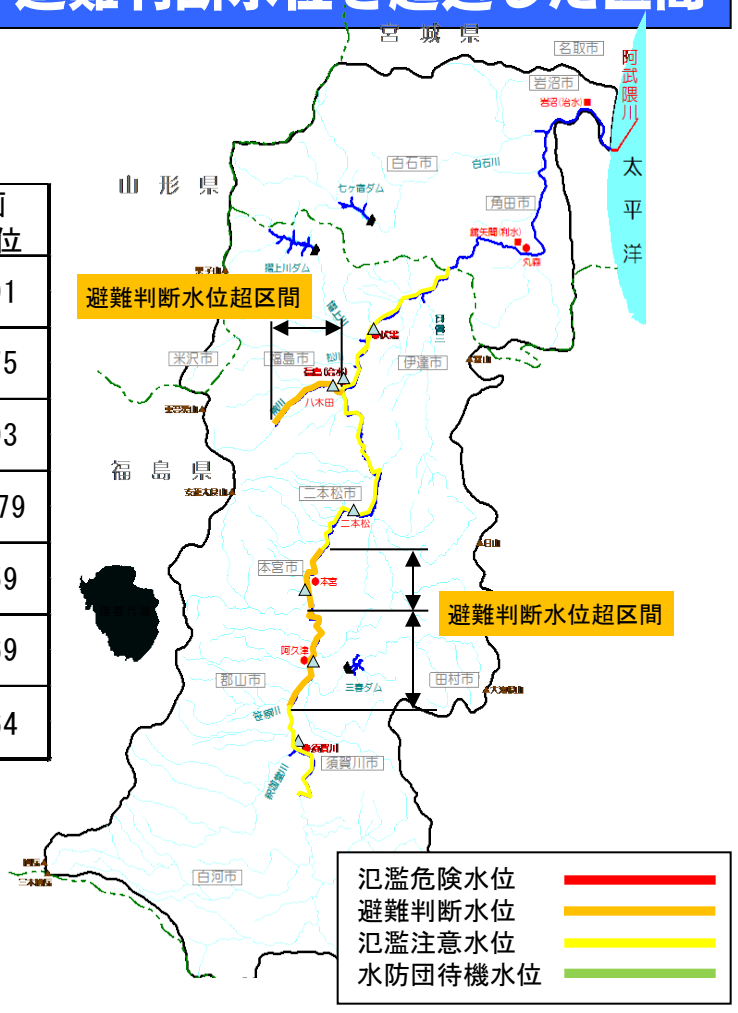
【基準水位の超過箇所】
- 避難判断水位超過　３箇所
- 全観測所で氾濫注意水位を超過
- 平水位から阿久津水位観測所では約7.4m　福島水位観測所では約５．０mの水位上昇

洪水予報・水防警報観測所

３観測所で避難判断水位を超過

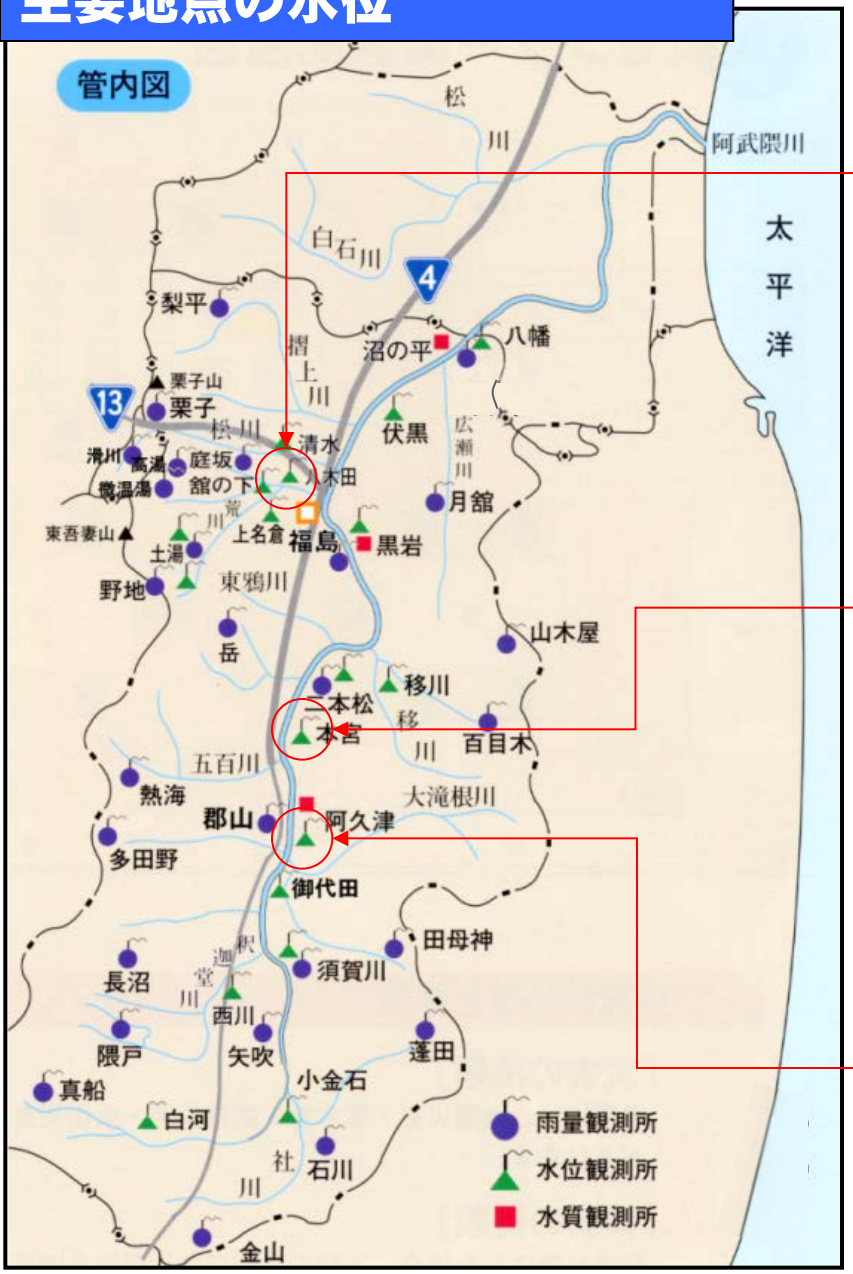
河川名	観測所名	最高水位	水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	計画高水位
阿武隈川上流	須賀川	7.00 10/23 11:20	3.50	4.50	7.10	7.70	7.991
	阿久津	7.59 10/23 10:10	4.00	5.50	6.80	7.90	8.675
	本宮	7.06 10/23 11:00	4.00	5.00	6.30	7.90	9.293
	二本松	9.73 10/23 12:50	5.50	6.50	10.10	10.40	13.179
	福島	4.36 10/23 8:30	3.00	4.00	5.10	5.40	6.559
	伏黒	4.19 10/23 9:50	3.00	4.00	4.50	5.00	7.269
荒川	八木田	1.35 10/23 7:30	0.50	1.20	1.30	2.00	3.464

避難判断水位を超過した区間

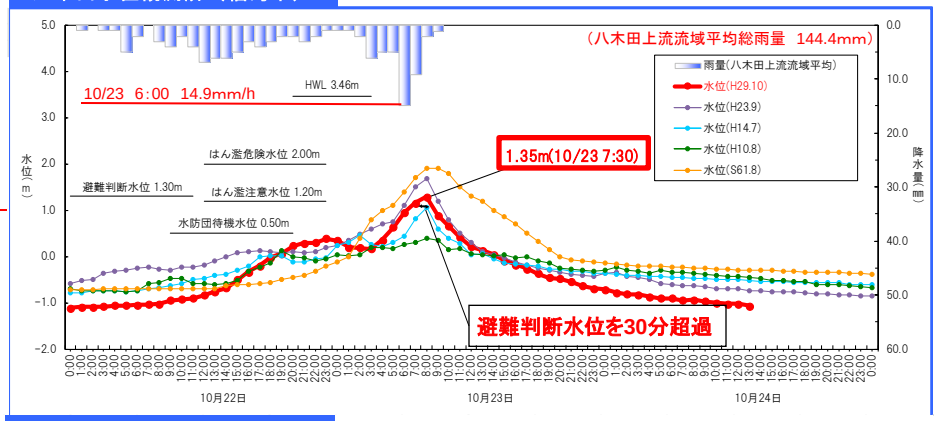


平成２９年１０月２３日　台風２１号に伴う出水概要

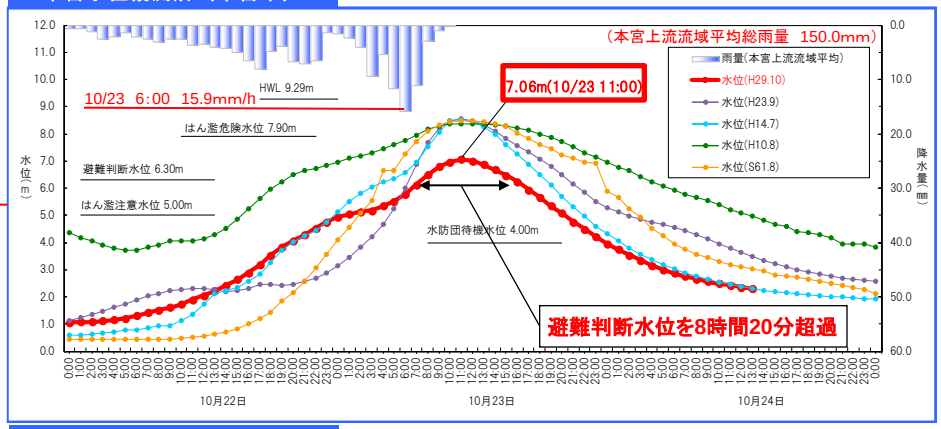
主要地点の水位



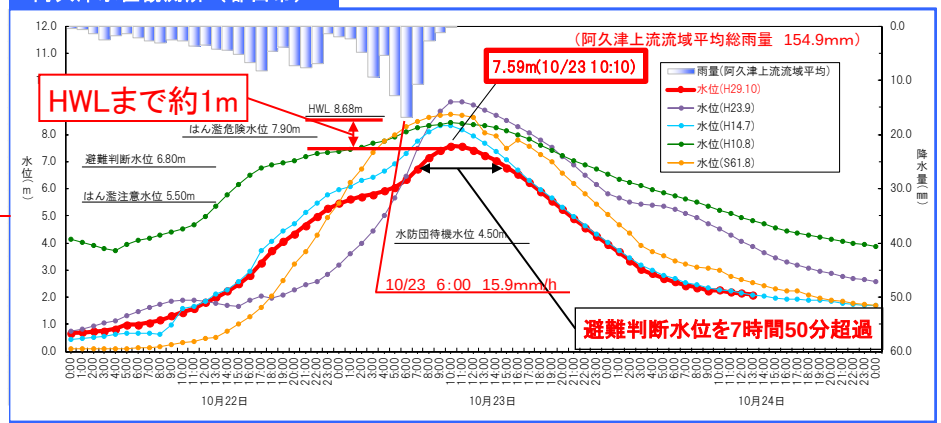
八木田水位観測所（福島市）



本宮水位観測所（本宮市）



阿久津水位観測所（郡山市）



平成２９年１０月２３日　台風２１号に伴う出水概要

荒川の八木田水位観測所では、避難判断水位を超過する大きな出水となった。

伏黒出張所管内

①滝川合流点付近



伏黒観測所ピーク 10/23 9:50

③松川合流点付近



福島観測所ピーク 10/23 8:30

②摺上川合流点付近



伏黒観測所ピーク 10/23 9:50

④八木田橋付近



八木田観測所ピーク 10/23 7:30

■H29.10/23午前よりドローンによる状況把握調査を実施。

平成２９年１０月２３日　台風２１号に伴う出水概要

阿武隈川上流の本宮水位観測所と阿久津水位観測所では、避難判断水位を超過した。

郡山出張所管内

本宮観測所ピーク 10/23 11:00

①安達橋付近

H29 10/23　10:40頃 撮影



②富久山橋付近



阿久津観測所ピーク 10/23 10:10

③阿久津橋

H29 10/23 6:40頃 撮影



阿久津観測所ピーク 10/23 10:10

④釈迦堂川合流点付近

H29 10/23 14:20頃 撮影



須賀川観測所ピーク 10/23 11:20

■H29.10/23午前よりドローンによる状況把握調査を実施。

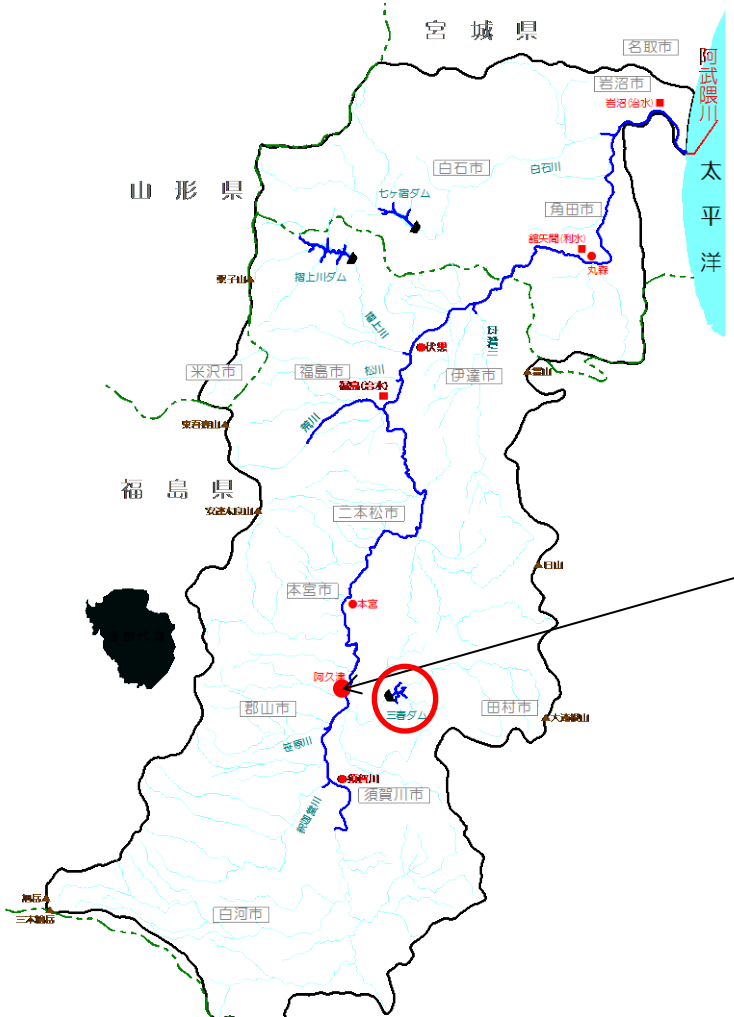
平成２９年１０月２３日　台風２１号に伴う出水概要

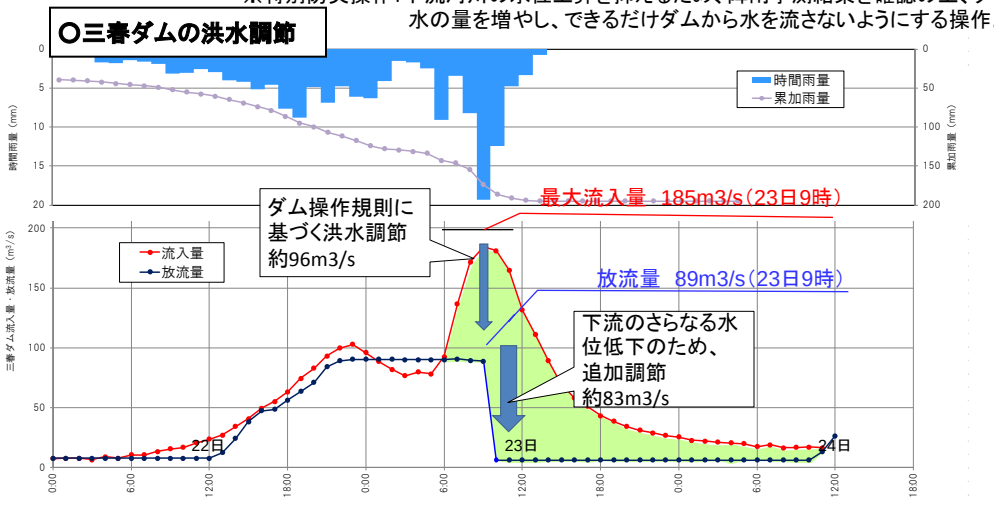
三春ダムとの連携による水位低減効果

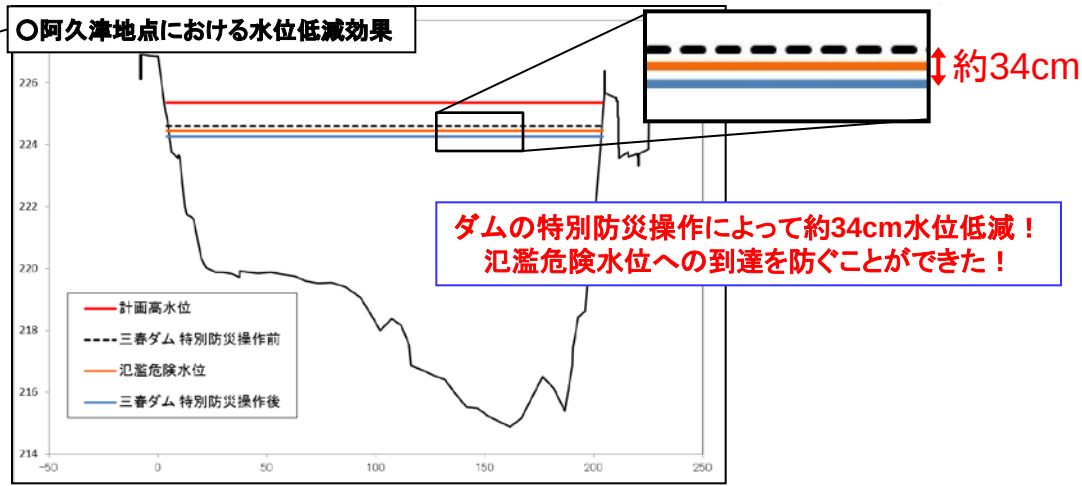
○三春ダムでは、ダム下流河川の水位上昇により洪水被害が発生する恐れがあるため、10月23日9時09分より、ダムからの流下を一時的に停止する「特別防災操作※」を実施した。

○下流の阿久津観測所地点において、通常操作であれば約18cmの水位低減となるところを、「特別防災操作※」により約34cmの水位低減が図られ、氾濫危険水位への到達を防いだ。

※特別防災操作：下流河川の水位上昇を抑えるため、降雨予測結果を確認の上、ダムに貯める水の量を増やし、できるだけダムから水を流さないようにする操作。







平成２９年１０月２３日　台風２１号に伴う出水概要

水防災意識社会
再構築ビジョン

被害軽減に向けた取り組み　排水機場・排水ポンプ車による排水状況

排水機場

排水機場・排水ポンプ車合計で25mプール約4,000杯分（総量約200万m3）の内水を排除！

南町排水機場（福島市）

■排水能力　2.0m3/s
Φ700　1.0m3/s×1台
Φ500　0.5m3/s×2台

23日3:00～24日1:30稼働

20時間稼働により、
約2.2万m3の内水排除を実施
※25mプール約46杯分

愛宕川緊急内水排水施設（郡山市）

■排水能力　6.0m3/s
Φ700　1.0m3/s×6台

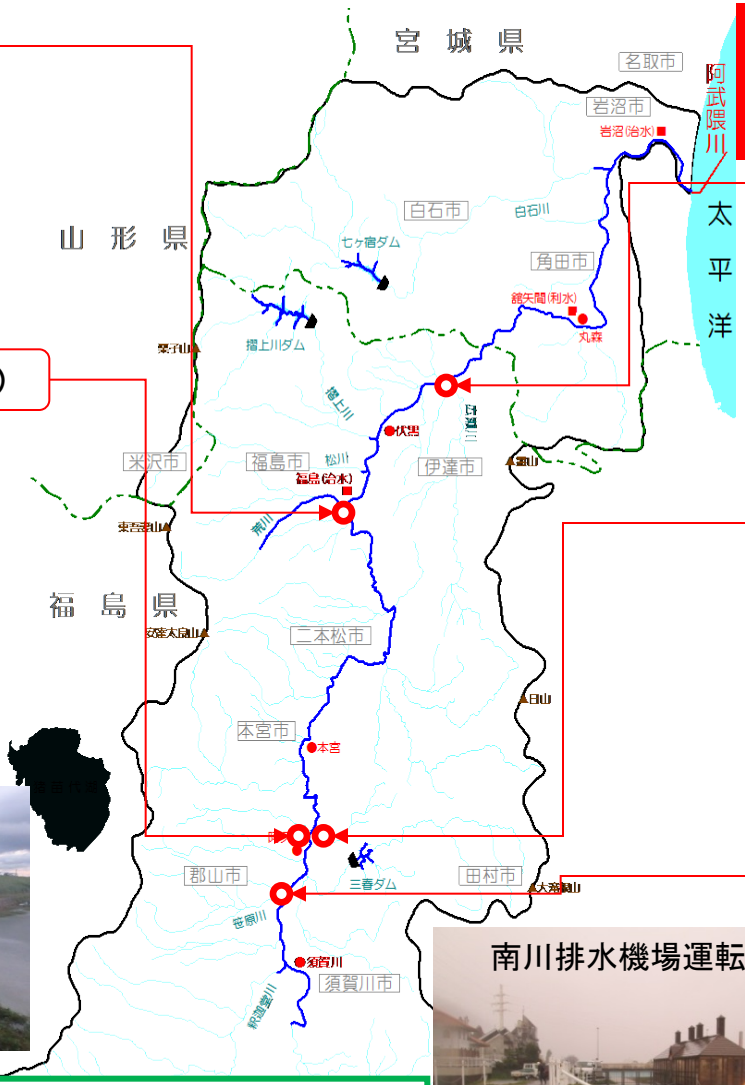
22日16:50～24日0:20稼働

■排水ポンプ車能力　60m3/min ×2台

23日9:00～17:35稼働

31時間稼働により、
排水機場・排水ポンプ車合計で
約47.5万m3の内水排除を実施
※25mプール約974杯分





伝樋川排水機場（伊達市）

■排水能力　10.0m3/s
Φ700　1.0m3/s×10台

22日23:49～23日19:30稼働

19時間稼働により、
約61.5万m3の内水排除を実施
※25mプール約1,263杯分

舘下排水機場（郡山市）

■排水能力　4.0m3/s
Φ700　1.0m3/s×4台

22日20:15～23日23:00稼働

26時間稼働により、
約26.6万m3の内水排除を実施
※25mプール約546杯分

舘下排水機場運転状況

南川排水機場（郡山市）

■排水能力　6.0m3/s
Φ700　1.0m3/s×2台
Φ1000 2.0m3/s×2台

23日4:40～17:30稼働

12時間稼働により、
約12.4万m3の内水排除を実施
※25mプール約254杯分

南川排水機場運転状況



排水ポンプ車の広域運用　～機動的で柔軟な内水排除～

愛宕川緊急内水排水施設に配備された排水ポンプ車1台は、東北技術事務所（宮城県多賀城市）より派遣されたもの。排水体制の強化を図った。

平成２９年１０月２３日　台風２１号に伴う出水概要

水防災意識社会
再構築ビジョン

被害軽減に向けた取り組み　排水機場・排水ポンプ車による排水状況

排水ポンプ車

排水機場・排水ポンプ車合計で25mプール約4,000杯分（総量約200万m3）の内水を排除！

排水ポンプ車：榎戸樋門（二本松市）

■排水能力　30m3/min

23日9:00～14:00稼働

5時間稼働により、
約5.4千m3の内水排除を実施
※25mプール約11杯分

排水ポンプ車：水穴樋管（郡山市）

■排水能力　30m3/min

22日19:15～24日1:30稼働

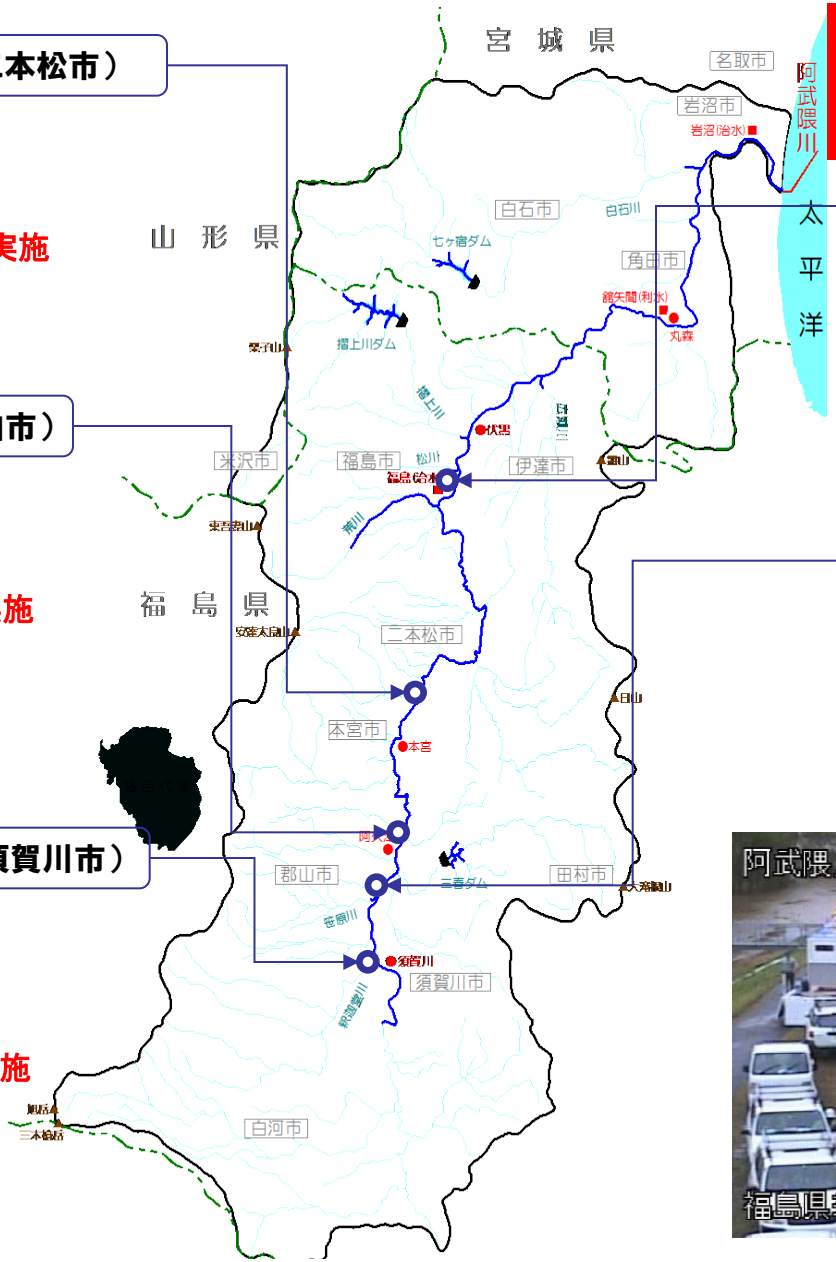
30時間稼働により、
約5.0万m3の内水排除を実施
※25mプール約102杯分

排水ポンプ車：昭和町樋管（須賀川市）

■排水能力　30m3/min

22日21:25～23日19:40稼働

22時間稼働により、
約1.1万m3の内水排除を実施
※25mプール約22杯分



排水ポンプ車：福島第１樋管（福島市）

■排水能力　30m3/min

23日9:10～18:15稼働

9時間稼働により、
約1.6万m3の内水排除を実施
※25mプール約34杯分

排水ポンプ車：落合堀樋管（郡山市）

■排水能力　150m3/min

23日6:40～19:25稼働

12時間稼働により、
約33万m3の内水排除を実施
※25mプール約678杯分



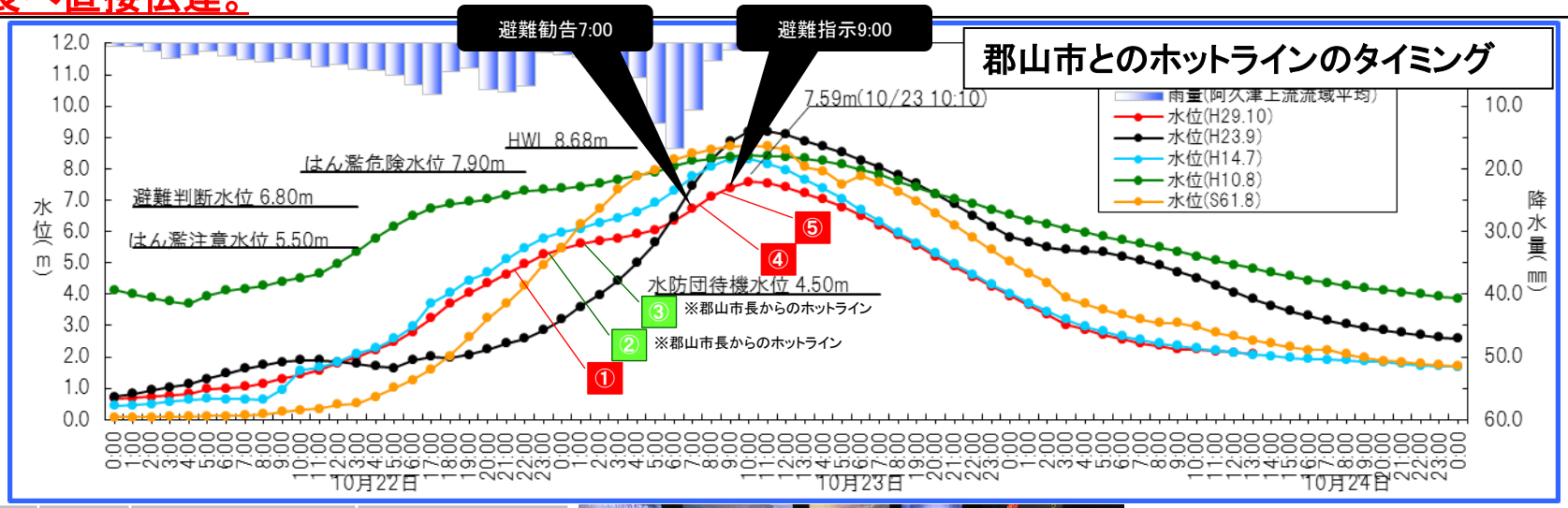
平成２９年１０月２３日　台風２１号に伴う出水概要

水防災意識社会
再構築ビジョン

市町村長に対しホットラインによる情報提供を積極的に行いました！

○流域自治体と**合計11回のホットラインによる情報提供**を実施。

○避難勧告等の発令の判断を支援するため、今後の水位の見通しや過去の大洪水時における状況等を**市長へ直接伝達。**



10月22日	22:46	福島河国⇒須賀川市長	水位状況
	22:51	福島河国⇒郡山市長	①水位状況
	23:00	郡山市長⇒福島河国	②避難所開設情報
10月23日	0:50	郡山市長⇒福島河国	③市の災害対策情報
	1:11	福島河国⇒本宮市長	水位状況 避難所開設情報
	4:17	福島河国⇒福島市長	水位予測について
	6:15	福島河国⇒福島市長	水位予測について
	7:15	福島河国⇒郡山市長	④水位状況 避難勧告発令について
	7:20	福島河国⇒本宮市長	水位状況
	7:36	福島河国⇒福島市長	水位状況
	8:13	福島河国⇒郡山市長	⑤水位状況



郡山市長へのホットライン状況
阿武隈川の水位状況・見通しを伝達
（H29.10/22 22:51）

効果

■河川水位の上昇にあわせたタイムリーな情報の共有。

■市長へ直接伝える事によって**避難指示等の判断に要する時間を短縮**。

■**市の対応状況に関する最新の情報を市長から直接入手**。

平成２９年１０月２３日　台風２１号に伴う出水概要

水防災意識社会
再構築ビジョン

郡山市タイムライン(詳細版)試行案策定後、初めて実際の対応に活用しました！

〇H29.3に郡山市で策定した「郡山市タイムライン（詳細版）試行版」策定後、初の実運用。
〇タイムラインステージ1[準備]段階の「運用開始の判断・意思会議」をはじめとし、各担当部署において[注意]→[警戒]→[行動]→[避難]→[退避]のステージ6に至るまでタイムラインに沿った対応を実行。



郡山市担当係長級会議 [H29.10.20昼 開催]

タイムライン運用開始の判断・意思決定を確認。
台風21号の予想進路、注意・警戒時間を情報共有。
また、第48回衆議院議員総選挙と台風来襲が重なることから 選挙事務との調整についても確認した。



郡山市長及び部局長会議 [H29.10.22夜 開催]

台風21号の上陸直前に幹部会議を開催。
台風の予想進路や警戒が必要な時間帯等を確認。
タイムラインに基づき、各部局が担当する対応内容について最終確認。

結 果

■タイムラインが整備されていたことで先の行動を見越した対応ができた。
■今回の経験を踏まえ、タイムラインの改定に反映させていく予定。

郡山市タイムライン（詳細版）試行版とは

庁内外関係機関※が行う332個にわたる防災行動項目について「いつ・誰が・何を」するか詳細に整理したもの

※市関係部局：郡山市（防災危機管理課、河川課、広聴広報課、市民･NPO 推進課、保健福祉総務課、こども未来課、こども育成課、農地課、道路維持課、下水道維持課、生涯学習課、学校管理課、総務議事課）
※関係機関団体：福島河川国道事務所、福島地方気象台、郡山警察署・北警察署、郡山広域消防組合、市消防団

タイムライン(詳細版)試行版イメージ



平成２９年１０月２３日　台風２１号に伴う出水概要

水防災意識社会
再構築ビジョン

その他の取組

【自治体・住民への取組】

①リエゾンの派遣

福島市からの要請を受け、事務所から2名のリエゾンを派遣。福島市の災害対応をサポートしました。



情報収集の様子



災害対策本部会議への出席の様子

②電光掲示板による広報

管内9箇所に設置している電光掲示板を使用し、地域住民に対して河川水位に関する情報提供を行いました。



電光掲示板による情報提供（郡山市金山橋）

【事務所内における体制強化の取組】

※防災エキスパートを招聘し、過去の水害の体験に基づく助言を受けながら災害対応にあたるとともに、現場の最前線で対応する出張所へ、経験豊富な事務所職員を派遣することで、災害対応の体制を強化しました。

※防災エキスパートとは、防災に関する豊富な技術・知識や災害体験に基づき、災害時における地域の活動を支援するボランティア。
台風21号対応においては、国土交通省東北地方整備局のOBに支援を要請。



防災エキスパートから助言を受ける様子